

市民協働事業提案制度 自己評価シート

令和6年度実施事業

作成日 令和7年1月19日

事業名	夏休み親子リサイクル探検ツアー
記載団体 又は担当課	廃棄物対策課

※評価点（5段階）の基準

5点：（十分に達成）達成度80%以上 / 4点：達成度60%～79%

3点：（一部に問題はあるが概ね達成）達成度40%～59% / 2点：達成度20%～39%

1点：（達成度が著しく低い）達成度20%未満

■（1）市民協働の観点から

評価項目	評価点	補足（評価点の理由や補足、成果・課題とその対応など）
①目的は共有できましたか。	5	富士市の資源ごみの行方を学び、リサイクルの重要性を知ること、ごみの分別が必要であることを共有し、参加者への学習、啓発に取り組むことができた。
②役割分担は適切にできましたか。	5	市は募集に伴う事務処理及び受託者は募集チラシの作成、事業の実施及び準備を行うこととし、役割分担を行った。
③十分な意思の疎通が図られましたか。	4	都度、打合せを実施し意見交換を行った。また、不明点等があれば相互にメール等で意思疎通を図った。
④対等であることを理解し、良好で持続可能な関係を築き事業を実施できましたか。	5	市として、団体の主体性を尊重し、協力体制を構築して事業を行った。
⑤市民サービスの向上が果たせましたか。 また、相乗効果・波及効果が得られましたか。	4	親子参加の事業であり、貴重な機会と捉え事業を実施した。参加者が体験したことをSNS等で発信することで相乗効果を狙った。今後、ごみの分別の意識が広まることを期待する。

評価の流れ

自己評価シート

→

相互評価シート

■（２）事業内容の観点から

評価項目	評価点	補足（評価点の理由や補足、成果・課題とその対応など）
①目的・目標は達成できましたか。	5	リサイクルの過程を知ることで、家庭でのごみの分別意識の向上を図ることができた。
②スケジュールどおりに実施できましたか。	5	概ねスケジュールどおり実施した。
③-行政 事業の費用対効果はどうでしたか。 ③-市民活動団体等 提案事業実施にあたり事業費積算は妥当でしたか。	4	平日の猛暑の中での開催であったこともあり、定員19組のところ13組の参加にとどまったために、費用対効果として「4」とした。ただし、見学した工場は大人数では移動が困難と思われる箇所もあり、参加定員については今後の課題と考える。
④事業に対する「受益者（市民）の満足度」は十分に図られましたか。 （受益者からの評価が分かる場合）	4	※受益者からの評価の方法と内容、または、評価できない場合はその理由など
		参加者へのアンケートの結果から、満足度は高かったと理解している。また、施設見学の様子から楽しんで学んでいたことが伺える。ただし、猛暑の中の過密スケジュールであったため、体調不良者が出たため「4」とした。

■（３）その他、課題や改善方法など

開催時期が夏休みであったことから、非常に暑く子供の負担になった。対象を崩した子供がいたが、事前に、水分や保冷剤、看護師を用意し対応したため大事には至らなかった。

予定していた定員に満たなかった。平日の開催のため保護者が参加しづらいとの声があった。そのため、次年度は開催時期や参加者募集の広報の時期や方法を考える必要がある。